

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	48	観光研修Ⅰ
1年	52	観光ゼミⅠ（佐藤ゼミ）
2年	81	観光研修Ⅱ

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-4-SEM-07					
	●	●									
科目名	観光研修Ⅰ					単位 認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	通年	単位数	1 単位			受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光研修Ⅰ」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。それら学外での学修活動だけではなく、学内における事前学修、事後発表を通して観光に対するさらなる知見の獲得を行い、学修を深化させる。特に1年次では「観光」という事象について集団で学び合い、認識を深める「フィールドワーク入門」としての面も持ち、多角的に観光現象について学修を深める。										
到達目標	観光を学ぶ学生として、研修や体験で得た知識を今後の進路選択に活かせるようになる。 事前研修、体験、事後発表という一連の流れの中で、自らの考えを明確に表現できるようになる。										
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	近隣施設見学：仙台国際空港					【事前】見学に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
2						【事後】施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
3	仙台国際空港:事後学修					【事前】見学時に感じた疑問などをまとめておくこと（概ね40分）。					
4	仙台市のインバウンド政策を知る（ゲストスピーカー）					【事前】東北地方のインバウンドに関する情報を調べておくこと（概ね50分）。					
5	仙台市のインバウンド政策を知る:事後学修					【事前】講話の内容について疑問に思ったことなどをまとめておくこと（概ね50分）。					
6	手話体験講座					【事前】観光業と手話の関りについて調査しておくこと（概ね1時間）。					
7	手話体験講座：事後学修					【事前】観光業で活用できる技能には、他にどのようなものがあるか考えておく（概ね1時間）。					
8	学外研修:事前学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事前】研修地について調査しておくこと（概ね50分）。					
9	学外研修（2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】研修地で学んだこと、体験したこと、知ったことについての資料を整理しておくこと（概ね50分）。					
10											
11	学外研修:事後学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】学外研修の内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
12	教育文化施設視察 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事前】施設に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
13											
14	教育文化施設視察：事後学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
15	全体のまとめ					【事前】1年間の学修内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
教科書	使用しない。										
参考文献	参考資料は随時配布する。										
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。研修をオンラインに変更して実施することがある。授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

						科目ナンバリング				
						TB-4-SEM-09				
学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	佐藤 美輪		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミⅠ」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	①日本の世界遺産について登録までの流れや背景を理解できるようになる。 ②東北地方にある観光資源の伝承について、フィールドワークを通し理解できるようになる。 ③コミュニケーションスキルを身につけ、調べた事柄を相手に対し的確に伝えられるようになる。									
学修者への期待等	東日本大震災や、日本の世界遺産について、自ら調べ自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等の実践演習を計画しているため、遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス：自己紹介、ゼミの進め方 東日本大震災：被災地の今を考える					自己紹介で話す内容を考えてきてください（1時間程度）。				
2	東日本大震災：復興と課題					東日本大震災の復興と課題を事前に調べてきてください（1時間程度）。				
3	東日本大震災：フィールドワーク準備 ＜調査場所の下調べ＞					フィールドワーク先について事前に調べてきてください（1時間程度）。				
4	東日本大震災：フィールドワーク準備 ＜インタビュー項目の検討＞					インタビュー項目を事前に考えてきてください（30分程度）。				
5	東日本大震災：被災地のフィールドワーク① ＜女川町＞					フィールドワークから得たい内容をまとめておいてください（1時間程度）。				
6										
7	東日本大震災：被災地のフィールドワーク② ＜荒浜小学校＞					フィールドワークから得たい内容をまとめておいてください（1時間程度）。				
8										
9	東日本大震災：報告書作成					報告会に向けて、報告資料を仕上げておいてください（1時間程度）。				
10	東日本大震災：フィールドワーク報告会					報告会で得た知識をまとめておいてください（1時間程度）。				
11	日本の世界遺産について 世界遺産パンフレット作成役割決め					日本の世界遺産について調べてきてください（30分程度）。				
12	世界遺産パンフレット：作成					旅行会社のパンフレットから予習をしてきてください（30分程度）。				
13	世界遺産パンフレット：中間報告会					中間報告会で指摘された箇所の修正をまとめておいてください（1時間程度）。				
14	世界遺産パンフレット：中間報告を受けての修正					最終報告会に向けて、完成版を仕上げておいてください（1時間程度）。				
15	世界遺産パンフレット：最終報告会 世界遺産のまとめ									
教科書	使用しない。適宜、レジュメを配布する。									
参考文献	授業中に適宜紹介する。									
備考	質問には次回以降の授業でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)